

建築士法第23条の6の規定による  
設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。  
この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

栃木県知事 様

平成 21 年 4 月 30 日

（一級）建築士事務所 栃木県知事登録 A 第1234号

この記入例は、事業年度が  
4月1日～3月31日の  
法人を想定しています。

事務所名称 栃木県庁一級建築士事務所

所在地 宇都宮市埴田1-1-20

電話 028-623-

建築士事務所の開設者の氏名又は名称

栃木県庁建築株式会社

代表取締役 栃木 一男

代表者  
印

法人：登録申請書と同じ印

事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

〔記入注意〕建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

ポイント

毎事業年度の経過後、3ヶ月以内に提出しなければなりません。

個人の事業年度は、1月～12月となります。

建築士法第24条の6の規定により閲覧に供する書類と内容を整合させることが必要です。

(第二面)

記入例

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
- 2 〔例〕

栃木県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 五階建延 700 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	平成 19. 2. 1 19.10. 3
-----	------	--------------------------------------	--------------	----------------------------

建築物所在地 都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
栃木県	住宅	木造 二階建 延 150 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	H20. 10. 1 21. 3. 15
栃木県	共同住宅	鉄骨鉄筋コンクリート造 十階建 延 5,000 m <sup>2</sup>	構造設計	H20. 8. 1 21. 2. 3
栃木県	住宅	鉄骨造 三階建 延 350 m <sup>2</sup>	代願、設計 及び工事監理	H20. 5. 1 20.12.20
栃木県	学校	鉄筋コンクリート造 三階建 延 2,500 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	H20. 1. 15 20. 10. 15

**ポイント**  
当該事業年度中に完了した業務について、完了日の直近のものから順に記入します。  
1枚に収まらない場合は、複数枚にわたって全ての業務について記入してください。  
記入すべき業務範囲は、建築士事務所として依頼を受けた（受託の契約をした）  
「建築物の設計」、「工事監理」及び法21条に定める「その他の業務」（代願、敷地  
調査、建物鑑定、積算等）です。  
「施工」のみの場合は建築士事務所の業務にあたらないため記入しません。  
確認申請書等の記載との整合が必要です。

**該当する業務実績がない場合は、「該当なし」と記入します。**

所属建築士名簿

氏 名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあっては、その旨	登録番号	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	建築士法第 22 条の 2 第 1 号から第 3 号までに定める講習のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合には、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第 22 条の 2 第 4 号及び第 5 号に定める講習のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日
宇都宮次郎	一級建築士 <u>(管理建築士)</u>	123456		H21.3.4	構造設計一級建築士	12345	
小山 京子	一級建築士	789012					
那須 高男	二級建築士	1234	栃木県	H21.3.12			
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><b>ポイント</b></p> <p>管理建築士を記入します。</p> <p><u>事業年度最終日現在</u>の所属建築士を全て記入します。</p> <p>一級・二級・木造建築士の定期講習(法定講習)について、それぞれ直近の受講日を記入します。(所属建築士は、3年おきに受講しなければなりません。)</p> <p>構造/設備設計一級建築士の定期講習(法定講習)について、直近の受講日を記入します。</p> <p>は、未受講の場合は、記入しません。</p> <p>なお、「管理建築士講習(法定講習)」とは異なります。</p> </div>							
計				一級建築士	2	名	
				二級建築士	1	名	
				木造建築士		名	
				構造設計一級建築士	1	名	
				設備設計一級建築士		名	

(第四面)

記入例

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入して下さい。
- 2 〔例〕

国土太郎      栃木県      共同住宅      鉄筋コンクリート造  
五階建延 700 m<sup>2</sup>      設計及び  
工事監理      平成  
19. 2.1  
19.10. 3

所属建築士の氏名	建築物所在地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
宇都宮次郎	栃木県	共同住宅	鉄骨鉄筋コンクリート造 十階建 延 5,000 m <sup>2</sup>	構造設計	H20. 8. 1 21. 2. 3
小山 京子	栃木県	住宅	鉄骨造 三階建 延 350 m <sup>2</sup>	代願、設計 及び工事監理	H20. 5. 1 20.12.20
〃	栃木県	学校	鉄筋コンクリート造 三階建 延 2,500 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	H20. 1.15 20 10.15
那須 高男	栃木県	住宅	木造 二階建 延 150 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	H20. 10. 1 21. 3.15
<u>下野 華子</u>	栃木県	住宅	木造 二階建 延 150 m <sup>2</sup>	設計及び 工事監理	H20. 10. 1 21. 3.15
年度途中の退職者 ポイント 参照					
ポイント 所属建築士ごとに実績を記入してください。 第二面の業務実績と、第三面の所属建築士を組み合わせ、完了日が新しいものから順に 記入してください。 年度途中で退職し、第三面に記載されない所属建築士についても、実績があれば記入 します。 確認申請書等の記載との整合が必要です。  該当する業務実績がない場合は、「該当なし」と記入します。					

## 管理建築士による意見の概要

〔記入注意〕

当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。

管理建築士の氏名	建築士事務所の開設者に対して述べられた意見の概要	当該意見が述べられた日
宇都宮次郎	設計業務の期間を十分確保するよう助言した。	H20.10.9
<p><b>ポイント</b>            建築士法第24条第2項の規定に基づき、管理建築士から開設者に述べられた意見の概要を記入します。</p> <p><b>意見が述べられた事例がない場合、            及び開設者が管理建築士を兼ねる場合は、「該当なし」と記入します。</b></p>		